平成25年12月期　第１四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成25年５月14日

上 場 会 社 名	株式会社デ・ウエスタン・セラピテクス研究所	上場取引所			大
コ ー ド 番 号	4576		URL	http://www.dwti.co.jp	
代　　表　　者	(役職名) 代表取締役社長	(氏名)	日高　有一		
問合せ先責任者	(役職名) 取締役総務管理部長	(氏名)	上窪　彩子	(TEL) 052-218-8785	
四半期報告書提出予定日	平成25年５月15日	配当支払開始予定日		—	

四半期決算補足説明資料作成の有無　　：無
四半期決算説明会開催の有無　　：無

(百万円未満切捨て)

１．平成25年12月期第１四半期の業績（平成25年１月１日～平成25年３月31日）

（１）経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年12月期第１四半期	50	33.3	△17	—	△18	—	△18	—
24年12月期第１四半期	37	—	△70	—	△67	—	△68	—

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年12月期第１四半期	△0.93	—
24年12月期第１四半期	△3.90	—

（２）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年12月期第１四半期	770	755	98.0
24年12月期	467	452	96.4

（参考）　自己資本　　25年12月期第１四半期　　755百万円　　24年12月期　　450百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
25年12月期	—				
25年12月期(予想)		0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：無

３．平成25年12月期の業績予想（平成25年１月１日～平成25年12月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第２四半期(累計)	50	33.3	△95	—	△97	—	△97	—	△4.86
通期	80	△28.9	△201	—	△202	—	△203	—	△10.02

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：無

※　注記事項

（１）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用　　：　無

（２）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　　：　有

②　①以外の会計方針の変更　　：　無

③　会計上の見積りの変更　　：　有

④　修正再表示　　：　無

（３）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	25年12月期１Ｑ	20,521,400株	24年12月期	18,141,400株
②　期末自己株式数	25年12月期１Ｑ	―― 株	24年12月期	―― 株
③　期中平均株式数（四半期累計）	25年12月期１Ｑ	19,726,622株	24年12月期１Ｑ	17,507,334株

※　四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビューの手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しておりません。

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料４ページ「１.当四半期決算に関する定性的情報（３）業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 ……2
（１）経営成績に関する定性的情報 ……2
（２）財政状態に関する定性的情報 ……3
（３）業績予想に関する定性的情報 ……4
２．サマリー情報(注記事項)に関する事項 ……4
（１）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 ……4
（２）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 ……4
３．継続企業の前提に関する重要事象等の概要 ……4
４．四半期財務諸表 ……5
（１）四半期貸借対照表 ……5
（２）四半期損益計算書 ……6
第１四半期累計期間 ……6
（３）継続企業の前提に関する注記 ……7
（４）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 ……7

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する定性的情報

当第１四半期累計期間における国内経済は、震災からの復興需要が継続するなか、新政権による経済対策・金融緩和への期待感から円安株高が進み、景気回復の兆しが見えてきました。一方で、海外経済につきましては、アメリカ、中国に回復の兆しが見られるものの、欧州の債務危機や日中関係の影響などにより、先行きは不透明な状況で推移いたしました。

国内医薬品業界におきましては、高齢化の進行に伴う生活習慣病の増加等により、医薬品需要は増加傾向にあるものの、国の医療費抑制政策を反映し、薬価基準の引下げ、医療制度の見直しが進むなど、厳しい事業環境が継続しております。

このような状況の下、当社は新薬の継続的な創出とパイプラインの拡充を目指し、研究開発活動を推進いたしました。

ライセンスアウト済パイプラインにつきましては、ライセンスアウト先の興和株式会社により、抗血小板剤「K-134」の国内後期第Ⅱ相臨床試験及び緑内障治療剤「K-115」の国内第Ⅲ相臨床試験が実施されました。なお、緑内障治療剤「K-115」につきましては、国内第Ⅲ相臨床試験が終了し、試験結果の詳細な解析が進められております。

新規開発品「H-1129」につきましては、日本を対象とする独占的開発権・販売権を、わかもと製薬株式会社に付与するライセンスアウト契約を締結いたしました。

また、シグナル伝達阻害剤開発プロジェクトにつきましては、「H-1129」バックアップ化合物となるリード化合物の選定を完了し、化合物最適化に向けた研究開発活動を行いました。

売上高につきましては、「H-1129」のライセンスアウト契約を締結したことにより、フロントマネー収入50百万円（前年同期比33.3%増）を計上しました。

利益面につきましては、研究開発費が25百万円（前年同期比40.3%減）、その他販売費及び一般管理費が41百万円（前年同期比14.9%減）であったことにより、販売費及び一般管理費は67百万円（前期比26.7%減）となりました。その結果、営業損失は17百万円（前年同期営業損失70百万円）、経常損失は18百万円（前年同期経常損失67百万円）、四半期純損失は18百万円（前年同期四半期純損失68百万円）となりました。

なお、当第１四半期累計期間における新薬候補化合物開発状況は以下の通りです。

① 新薬候補化合物開発状況

（イ）ライセンスアウト済パイプライン

プロジェクト名	開発中の新薬(対象疾患)	開発段階	ライセンスアウト先
K-134	抗血小板剤 (閉塞性動脈硬化症)	国内後期第Ⅱ相臨床試験 米国前期第Ⅱ相臨床試験終了	興和株式会社
K-115	緑内障治療剤 (緑内障)	国内第Ⅲ相臨床試験（注）	興和株式会社
H-1129	新規緑内障治療剤 （緑内障）	非臨床試験準備中	わかもと製薬株式会社

（注）本資料開示日現在において、国内第Ⅲ相臨床試験は終了しております。

※HMN-214（抗癌剤）について：ライセンスアウト先の日本新薬株式会社により、海外ライセンスアウトが検討されておりますが、現時点でPhaseⅡa以降の臨床試験の計画は未定です。

（ロ）新規開発品

プロジェクト名	開発中の新薬	開発段階
シグナル伝達阻害剤開発プロジェクト	H-1129バックアップ化合物（緑内障治療剤）	リード化合物の選定完了
	眼科関連 神経系 循環器系 呼吸器系等	基礎研究

② 当期の業績の概況

（イ）売上高、売上原価

売上高は「H-1129」ライセンスアウトにより、フロントマネー収入50百万円（前年同期比33.3%増）を計上しました。

（ロ）販売費及び一般管理費、営業損失

a. 研究開発費

研究開発費は人件費の減少等により、25百万円（前年同期比40.3%減）となりました。

新規開発品につきましては、ドラッグ・ウエスタン法によって新規緑内障治療剤「H-1129」の標的タンパク質を同定し、ライセンスアウト契約を締結いたしました。また、シグナル伝達阻害剤開発プロジェクトにつきましては、「H-1129」バックアップ化合物となるリード化合物の選定を完了し、化合物最適化に向けた研究開発活動を実施しました。

なお、当社のパイプラインである「K-134」、「K-115」、「HMN-214」の研究開発費は、ライセンスアウト先の資金により賄われており、当社において研究開発費負担は発生しておりません。また、当第１四半期にライセンスアウト契約を締結いたしました「H-1129」につきましても、当社において研究開発費負担が発生する予定はありません。

b. その他販売費及び一般管理費

その他販売費及び一般管理費は人件費の減少があったほか、経費削減に努めたこと等により、41百万円（前年同期比14.9%減）となりました。

これらにより、営業損失は17百万円（前年同期営業損失70百万円）となりました。

（ハ）経常損失、四半期純損失

営業外費用に株式交付費を１百万円を計上したこと等の結果、経常損失は18百万円（前年同期経常損失67百万円）、四半期純損失は18百万円（前年同期四半期純損失68百万円）となりました。

（２）財政状態に関する定性的情報

当第１四半期会計期間末における総資産は、前事業年度末から303百万円増加し、770百万円となりました。主な要因は、前事業年度末に比べ現金及び預金が253百万円増加したことや、売掛金が52百万円増加したこと等によるものです。

なお、総資産に占める流動資産の比率は当第１四半期会計期間末98.1%、前事業年度末96.9%です。

負債は、前事業年度末から０百万円減少し、15百万円となりました。

純資産は、前事業年度末から303百万円増加し、755百万円となりました。主な要因は、第６回新株予約権の権利行使等により、資本金等の増加322百万円があったことによるものです。

なお、借入金や社債等の有利子負債残高はありません。

また、負債純資産合計に占める純資産の比率は当第１四半期会計期間末98.0%、前事業年度末96.7%です。

（３）業績予想に関する定性的情報

当事業年度の業績につきましては、平成25年３月29日に公表いたしました業績予想から変更はありません。

２．サマリー情報（注記事項）に関する事項

（１）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（２）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更）

法人税法の改正に伴い、当第１四半期会計期間より、平成25年１月１日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これによる当第１四半期累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

３．継続企業の前提に関する重要事象等の概要

継続企業の前提に関する重要事象等の解消について

当社は、前事業年度において、継続的な営業損失の発生及びキャッシュ・フローのマイナスを計上していることや、研究開発資金確保のための適時適切な資金調達ができる保証がないことから、将来にわたって事業活動を継続するとの前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況が存在しておりました。

当該事象を解消するため、当社は、組織のスリム化や業務の効率化を推進し、コスト削減に努めてまいりました。また、事業面につきましては、当第１四半期累計期間において、ライセンスアウト契約の締結を達成し、フロントマネー収入を獲得いたしました。

資金面につきましては、平成25年２月15日付で、第６回新株予約権の権利行使が全て完了したことにより、当第１四半期累計期間において320百万円、累計414百万円の資金調達を実施いたしました。

以上により、当第１四半期末現在において、将来にわたって事業活動を継続するとの前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況は、解消されたと判断しております。

４．四半期財務諸表

（１）四半期貸借対照表

（単位：千円）

	前事業年度 （平成24年12月31日）	当第１四半期会計期間 （平成25年３月31日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	423,778	676,903
売掛金	－	52,500
有価証券	20,045	20,048
その他	9,263	6,731
流動資産合計	453,086	756,183
固定資産		
有形固定資産	5,477	5,499
無形固定資産	215	179
投資その他の資産	8,837	8,837
固定資産合計	14,530	14,515
資産合計	467,616	770,699
負債の部		
流動負債		
未払金	6,110	6,513
未払法人税等	3,750	1,811
その他	5,369	6,840
流動負債合計	15,230	15,166
負債合計	15,230	15,166
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,326,629	1,488,119
資本剰余金	1,316,629	1,478,119
利益剰余金	△2,192,332	△2,210,706
株主資本合計	450,925	755,532
新株予約権	1,460	－
純資産合計	452,386	755,532
負債純資産合計	467,616	770,699

（２）四半期損益計算書
第１四半期累計期間

（単位：千円）

	前第１四半期累計期間 （自　平成24年１月１日 至　平成24年３月31日）	当第１四半期累計期間 （自　平成25年１月１日 至　平成25年３月31日）
売上高	37,500	50,000
売上原価	16,250	－
売上総利益	21,250	50,000
販売費及び一般管理費		
研究開発費	42,670	25,462
その他	48,926	41,641
販売費及び一般管理費合計	91,596	67,103
営業損失（△）	△70,346	△17,103
営業外収益		
受取利息	136	139
為替差益	24	40
有償サンプル代収入	2,500	－
その他	15	4
営業外収益合計	2,675	184
営業外費用		
株式交付費	107	1,215
固定資産除却損	173	－
営業外費用合計	281	1,215
経常損失（△）	△67,952	△18,134
税引前四半期純損失（△）	△67,952	△18,134
法人税、住民税及び事業税	244	239
法人税等合計	244	239
四半期純損失（△）	△68,197	△18,373

（３）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（４）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

マイルストーン・キャピタル・マネジメント株式会社による第６回新株予約権の権利行使による増資があり、資本金及び資本準備金がそれぞれ160,810千円増加しております。

また、上記のほか、ストック・オプションの行使による増資もあり、当第１四半期会計期間末において資本金が1,488,119千円、資本準備金が1,478,119千円となっております。